



カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 平成30年4月号

平成30年度スタートする

平成30年度の入学式が4月7日に各学校で行われ新学年度が始まりました。サンフランシスコ校の小学部入学式では、緊張の面持ちながらも、自分の名前が呼ばれると元気よく「ハイ」と大きな声で返事をする児童が見られるなど喜びに溢れる入学式でした。また、中学部と高等部に入学した新入生代表の児童生徒はそれぞれ次のように誓いの言葉を述べました。



>>中学部代表

「私が中学部で一番楽しみにしていることは、球技大会でもなく、フードセールでもなく、文化祭でもなく“普段の学校生活”です。いつか、皆がそれぞれ自分の道を進んで行くことが分かっています。だからこそみんなと一緒に過ごす“普段の学校生活”を大切にしたいと思っています。…私たち、新中学1年生は、成功や失敗、喜びや悲しみ、様々な経験をへて成長し一生懸命頑張っています。先生方、上級生の皆さんどうぞよろしくお願いいたします。」

>>高等部代表「…私の場合は水泳のコーチから補習校と水泳のどちらかに決めろと言われました。迷ったすえ、私は補習校を優先することに決めました。日本人として日本語で学ぶ大切さを自覚していたからです。…私たちは英語と日本語を話せるだけではなく、両方の文化を体験し深く理解しようと努力しています。このつながりを大切にアメリカと日本の架け橋として活躍していけたらと思います。これから2年間、自分に挑戦しそして、自分たちの夢に一歩ずつ近づけるよう実り多い高校生活を送ることをここに誓います。」

ロックダウンの訓練を行う



サンフランシスコ幼小部では、4月14日（土）に不審者侵入時における各教室のロックダウンの訓練を行いました。当日は、タラバル警察署から2人の警察官が来校し訓練に協力して頂きました。訓練終了後の全体集会では、ロックダウン時の身の安全を守るための具体的なアドバイスがありました。

タラバル署の警察官が、本校の不審者対策訓練に訪れアドバイスを行うのは、今回が初めてとなります。それは、最近のテロや学校での銃乱射事件の頻発を受けて、サンフランシスコ総領事館の仲介により本校がタラバル署を訪問し、依頼したことにより実現したものであります。今後もタラバル署との連携を深め、より

一層子どもたちの安全を確立していきたいと思ひます。